

●しゃらくかい

写楽同会

平成31年4月30日 040

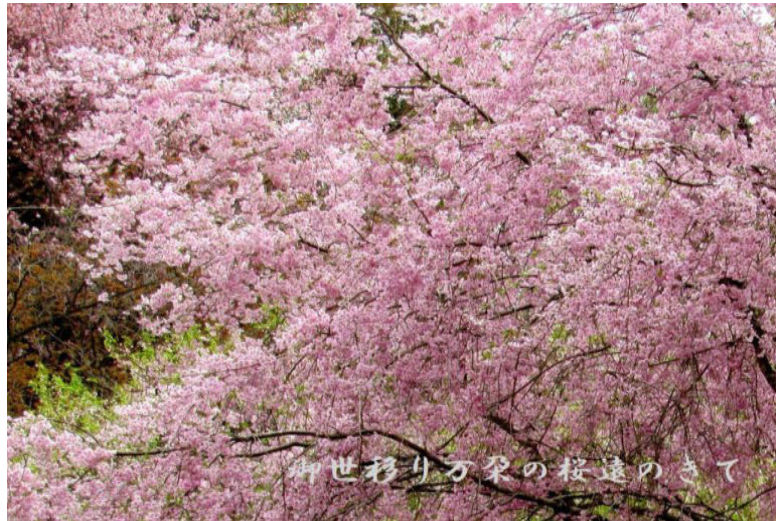
<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

卯月兼題「花見（桜）」 出題：準坊

写真俳句



1 御世移り万朶の桜遠のきて

令和になりました。あの忌まわしい軍歌「歩兵の本領」に歌われた「万朶の桜」と言っても知っている人も少ないでしょう。



2 大仏に諸行無常の花散りて

静謐な雨上がり大仏と桜が問答をしている様でした。板橋浄蓮寺の東京大仏にて。



3 平成の最後を締める花見酒

5月からは元号が変わります。平成を惜しむように盛り上がっておりました。



4 捨てたえだ部屋に飾れば家で花見



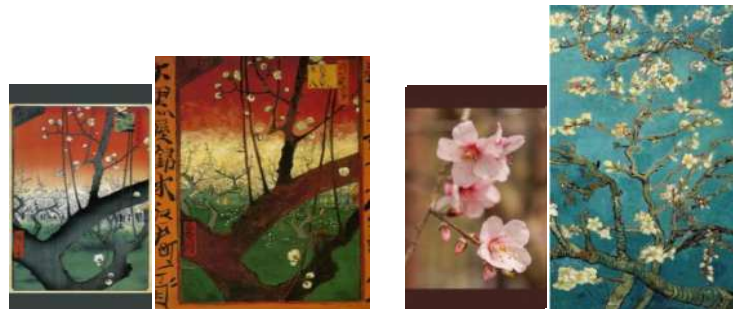
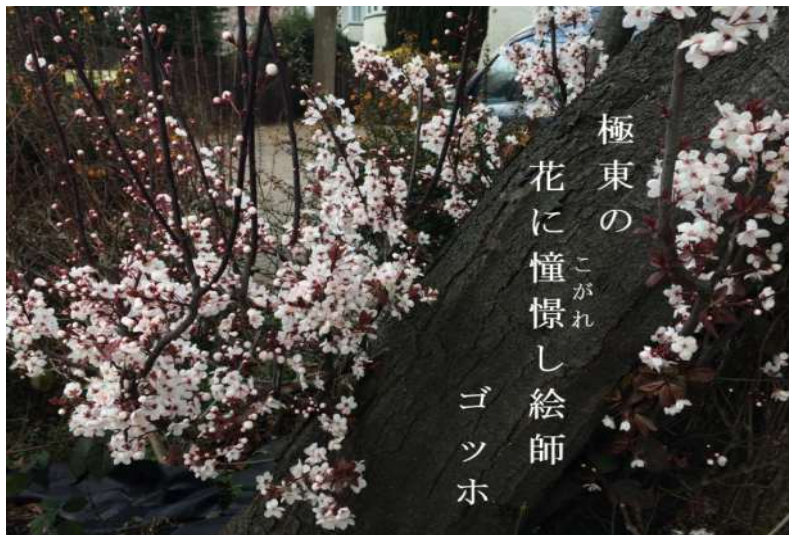
5 外つ国で通りすがりの花見かな

結構あちこちで桜が咲きますが、花見の習慣はありません。

こがれ

6 極東の花に憧憬し絵師ゴッホ

浮世絵の影響を受けたゴッホは、桜に似たアーモンドの花の作品を、多く残しています。



(広重の梅とゴッホの模写)

(アーモンドの花とゴッホ作品例)



7 春の宵この一刻を寿がん

10年ほど前に弘前城公園で撮ったものです。
ちょうど人も少なく、よいシャッターチャンスでした。



8 平成の終焉告げる残花かな

俳句



浦和玉蔵院の枝垂れ桜（撮影：準坊）

1 桜の木花の終りは小さな葉

2 花は葉に宴も終わり鳥遊ぶ

桜の花も散ると、あの騒ぎも終わり日常に戻ります。

3 燈火消えひとり月下の花うたげ

4 曇天の桜の木肌なぞる指

蕾は膨らんだがまだ寒い日々。一体どんな花を見せてくれるのか。

5 楽しげな写真嬉しむ花便り

令和にならい嬉しく思う事を嬉しむとしました。

6 飛花浴びてゆっくりゆっくりと車椅子

車椅子の方、いっぱい桜を浴びて楽しんでいるのでしょうか。

7 水溜まり桜吹雪を集めをり

無情の風に花びらを沢山浮かべる水溜まり。

短歌

たゆとうて
水面賑わす花筏
錦の鯉も
色添えに来て

準坊



花筏を壊さずに静かに泳ぐ錦鯉。

朝の陽に桜吹雪の煌めくや慈悲の心で姉は旅立つ 池福楼

訃報を聞いた日の心境を短歌にしました。

川柳

メモをした電話番号誰だっけ 準坊

数字番号だけをメモし後になってこれは？。

またしても秘書官盾の逃避術 準坊

モリカケで味しめ、又もや出たり奥の手が。

写真投稿 iSAMU



君子蘭



梅桃又は山桜桃梅（ユスラウメ）



ノムラモミジ

31年3月「学校」(出題者:千泉)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：28

一席

春疾風子らと校庭駆け巡る 久芽 (7 票)

<< チビっ子達も春風に押されて元気に走り回っていました。>>



- * 学校といえば、机と黒板の勉強が思い浮かびますが、外で走り回って体を動かして、学んで、伸びていくことも大切、とこの写真から教えてもらえます。
- * 駆け回って季語を作っている子供たち、かわいい、かわいい。
- * 子供達が春風をまよって駆け回っているような、躍動感のある写真と俳句ですね。
- * 子供たちの走り廻る様子、俳句にピッタリです。
- * 写真がちよっと物足りない気がしました。でも子供たちの元気な声が聞こえてきます。

佳作7句 (平成31年3月号掲載順)



いつの間に母から離れ卒業す 昼寝覚

<< 中学入学の時にはお母さんのそばにいた子も、卒業式では離れたままです。>>

- * 親離れしてくれるのは寂しくもあり嬉しくもあり。
- * その通りです。
- * 本当に「いつの間に・・・」。親としては感無量。
- * 子供の成長は、嬉しいような寂しいような…。



この春も捨てられずあり学習帳 北切雀

- * 捨てられないものは多々あります。
- * 遠い日の思い出、なかなか捨てられませんね。
- * 力作じゃないですか。迷うときは残しておくべきですよ。



春夕焼下校の子等の影踊る 準坊

<< 部活も終わり跳ね回る子供たちの影も長くなりました。>>

- * 綺麗でしかも暖かい季語。子供たちへの気持ちが出ています。
- * 暖かくなり子供達の活発な動きが良く表現出来ていると思います。



思い出は遙かに霞む山学舎 iSAMU

<< 故郷の岡山県立高梁高校です。同校は備中松山城の城主が日常起居していた屋敷である御根小屋跡に建っています。備中松山城は背後にある臥牛山の山頂に現存していて、最後の松山城主は大政奉還を取り仕切った老中板倉勝静です。>>

- * 近代史を語る一葉の写真に思いがこもる句です。
- * 九州にも歴史のある建物が学校になってますが良いですね。



廃校に漂い遺る卒業歌 池福楼

<< この百葉箱は何度「蛍の光」を聞いたのだろうか。>>

- * なんとなく不気味さを感じますね。
- * 廃校～校庭で遊ぶ子供達の声等 もちろん卒業歌も聞こえるでしょうね。
- * ブルーシートの向こうでは解体が進んでいる？句も写真も全体に不思議な雰囲気漂う。写真を見たとき「百葉箱」という、すっかり忘れていた言葉がずっと出てきて驚きました。刷り込みとは恐ろしいものです。



桜咲く犬も学校へ行きたがる 梵木

- * あらら、小さなご主人にお供したいのですね。かわいい。
- * たびたびご主人様の俳句に登場し貢献してますね。

冴返り校庭静か朝稽古 千泉

<< 霜が校庭一面に降り、真っ白で綺麗でした。 >>



- * どの学校なのか…、自然に囲まれているようで羨ましいです。気合いの入る朝稽古に違いありません。
- * こういう霜の降り方はイギリスに来てから知りました。いい季語を選びましたね。

俳句 投票数：26



ロンドン大学 ロイヤル・ホロウエイ・カレッジ (撮影：千泉)

一席

廃校の瓦礫の山に木の芽風 久芽 (6 票)

<< 東日本大震災の気仙沼向洋高校が当時の惨状そのままに伝承館として残されました。 >>

- * あれから「弥生三月」のイメージが一変してしまいました。合掌。
- * あれから8年も経ちますね。早い復興を願います。
- * 大震災の後の校舎、木の芽は春になると芽吹きますが、なんとも言えないですね。
- * 季語がいいですね もう8年、時と共に悲惨な出来事も風化していきます。気仙沼の高校が伝承館として残された事はいいですね。

卒業子校門出でて振り返り 準坊（票）

<< 一抹の寂しさ有り、不安も有り、希望も有り。 >>

- * 誰でも共感できる句だと思います。つい、振り返る気持ちわかります。
- * 文字通り人生の門出。
- * 殆どの卒業生がする様子が見えるようです。
- * 母校は、大人になってもふと思い出す場所ですよ。
- * 卒業する子思い出をいっぱい作り巣立っていきます。振り返りの部分にやはり一抹の寂しさがあるのか、後髪を引かれる思いもあるのか。気持ちが良く伝わってきます。

風ぬるむ腕（かいな） 露わに通学児 池福楼

<< ランドセルが揺れて半袖の子らが走って行く。 >>

- * 元気が一番。駆けて行く先は未来。
- * 子供はエネルギーが有り余っているのでしょうか？ 大人が寒いと感じる時でも、すぐ脱いでしまいますね。
- * いつまでも着膨れている私 見習って身軽になりたい。

校庭のたんぽぽ咲かす子らの声 北切雀

<< 今時の校庭は管理が行き届いて、雑草も生えないのでしょうか。 >>

- * 子供らの元気な声には力が有りますね。
- * 子供の声がたんぽぽの花を咲かすとは、とてもいい表現ですね。

校舎わき薄氷あり土の色 千泉

普段気付かない土の色に目がいきました。

- * なんとなく三段切れのようで難しい？
- * いつも見逃すところへ視線が？ なにかあった朝でしょうか。
- * 目立たないこんなところに春の気配を感じられたのですね。作者の優しさが表れています。

子等の声なき校庭に梅香る 昼寝覚

<< 廃校の庭にも毎年春は巡り来ます。 >>

- * 少子化が言われて久しい。しみじみと梅の香りが伝わってくる句です。
- * 子供のいない校庭の静けさの中、微かな香りを感じます。

一年生登校道に桜咲く 梵木

- * 入学おめでとう！
- * 定番の春風景、フレッシュです。

短歌

〈花シリーズ 10〉

春ですよ
もう春ですよ
水仙の囁き包む
甘き芳香

準坊



<< 水仙の学名「ナルシサス」は自己陶醉を意味する「ナルシスト」の語源になってます。

拙い花シリーズ短歌10回が限度で最終回で～す。お読み戴きありがとうございました。>>

* すてきな写真ともども楽しませていただきありがとうございました。次は何シリーズか期待してます。

〈時事短歌〉

トランプ氏「最悪」主演男優賞 頑張れ安倍さん次は受賞 準坊

* イタッ！痛烈皮肉。

川柳

何事もまあいいかなと粘り消え 準坊

<< 歳のせいかアバウトが好きになって来ました。>>

* 多分、身体が自然現象として「そうしろ」と言っているのでは？

「しっかりと」は聞き飽きたぜ某総理 準坊

<< 総理の「しっかりと」「・・・おいて」は常套句で意味は無し。>>

写真投稿 iSAMU



東所沢の枝垂れ梅



白木蓮



あけびの花の蕾

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 令和元年5月兼題は読者SUさんから「こどもの日」、6月は読者KHさんから「雨」と出ています。
- * 平成31年4号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳也大歓迎です。
- * 卯月4月への投票、皐5月号作品への投稿の締め切りはともに令和元年5月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会040 (連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2019 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

<http://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>



